

\*\*\*\*\*  
今日のカ  
\*\*\*\*\*

2024年11月18日～11月24日

翻訳 ハイステン 悦子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています  
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

11月18日(月)

イエスと生まれつき盲人の男

聖書朗読 ヨハネの福音書 9:1～12

「行って、シロアム(訳して言えば、遣わされた者)の池で洗いなさい。」そこで、彼は行って、洗った。すると、見えるようになって、帰って行った。 ヨハネ 9:7

彼の他の感覚は普通に機能していました。つまり、彼の聴覚、嗅覚、味覚、触覚は、大丈夫でしたが、視覚に障害がありました。見ることはできませんでした。彼は生まれつき盲目でした。イエス様は彼を癒し、彼に視覚を与えました。

盲目の男性に対する弟子たちの態度には興味深いものがあります。ヨブの自称友人たちと同じように、彼らは、男の盲目は神からの罰であると思っていました。しかし、イエス様はそうではないということを説明されました。

この話で強調されている点は、イエス様による癒しと、その出来事を目の当たりにした者たちの興奮と驚きです。男性が完全に癒され、目が見えるようになった時の、周りの者たちの反応と、様々な質問がそれを物語っています。それは明らかに奇跡であり、人となった神のみができる行いでした。そして、この行いを通して、イエスは御自身がメシヤであり、神から送られたお方であり、真の『世の光』であることを示されました。

讃美歌 180 はとのごと降る

祈り 親愛なるお父様。この世に来られ、傷つき困っている人達に対するあなたの思いやりのある憐みを示してください、あなたのひとり子に感謝します。キリストの御名前によって。アーメン。

サウス・カロライナ州 アーモ / フィリップ・アイクマン

11月19日(火)

## もし一粒の麦が死ねば

聖書朗読 ヨハネの福音書 12:20~36

まことに、まことに、あなたがたに告げます。一粒の麦がもし地に落ちて死ななければ、それは一つのみです。しかし、もし死ねば、豊かな実を結びます。

ヨハネ 12:24

一粒の麦が死ななければ、というイエス様の言葉を非難する人達がいたとします。彼らは、グーグル検索のように、本当に死んだ穀粒は芽を出して育つことはできないと言うかもしれません。しかし、彼らはイエス様が使われたぴったりの例えを理解していないのです。死んだ穀から命は育つのです。イエス様は墓という穀から生きて出られました!そして、私達も罪にある死から、神の素晴らしい光へと導かれました。

イエス様は、ご自分の霊を、それを与えてくださった神に委ねられました。イエス様は、蒔かれた種が地に落ちるように、御自身を死に預けられました。この犠牲を通して、人の子の栄光が表されました。そして、私達がバプテスマによって、古い自分に死ぬ時、私たちは新しく生きる者となり、イエス様にあって栄光を受けるのです。

このような驚くべき変化が起こるのです。たった一つの種から新たな有機体、新たな生命が生まれるのです。そこに主の栄光があらわされるのです。土から芽が出て、新たな作物へと育ちます。見ようとしないうちにとっては、キリストの教えは謎ですが、新たなものへと変えられた主を信じる者にとっては、真実と希望の描写なのです。

讃美歌 111 この世のものみな

祈り 神様、私達は、周りのものの中に、あなたの言葉の中に、あなたの知恵を見ることが出来ます。私達がそれを心の中に大切に抱くことが出来ますように。イエス様の御名により。アーメン。

ウィスコンシン州 ヒルズボロ / アル・コーネル

11月20日(水)

## 讃えます! 王イエス!

聖書朗読 ヨハネの福音書 19:1~16

その現れを、神はご自分の良しとする時に示して下さいます。神は祝福に満ちた唯一の主権者、王の王、主の主。 テモテ I 6:15

彼らは、イエス様を王と讃え、そして、イエス様の顔に唾を吐きました。彼らは叫びました。「王が来られる。」そして一週間後に、彼らはこう叫びました。「十字架につけろ。」彼らは王のローブと冠でイエス様を飾りました。そして、嘲笑いました。「神の子なら、十字架から降りて来い。」彼らはしゅろの木の枝を王の道に敷き、叫びました。「祝福あれ!」そして、彼らはイエス様を殺し、そのみからだは借り物の墓に納められました。彼らが口にした言葉は、彼らの心の言葉ではなかったのです。

私達は、当時イエス様を死へと追いやった人々と異なっているでしょうか。私達は、全き信仰と、宇宙を支配される神への信頼を宣言するかもしれません。しかし、一方で政治的な混乱にすぐ動揺します。私達は、忠実なしもべとして神に忠誠を誓うかもしれません。それなのに、自分の目の前の予定をクリアしていくことに忙しすぎて、人々に神のことを伝えるような時間はありません。私達は、神を主でありご主人様であると讃えるかもしれません。しかし、私達の生活を振り返ると、いかにお金に支配されているかが明らかかもしれません。私達がよく口にする言葉と行動にはかなりの隔りがあるのではないのでしょうか。

あなたが「イエス様、王様ばんざい!」という時、口から出るその言葉が心の中の言葉と一致していますことを祈ります。

讃美歌 121 まぶねの中に

祈り お父様。私達の発する言葉、行動、そして心があなたのひとり子、私達の王への全き信頼を表すものでありますように。イエス様の御名により。アーメン。

テキサス州 ベッドフォード / メアリー・ホリングスワース

11月21日(木)

## 私たちは家族です

聖書朗読 ヨハネの福音書 19:25~27

イエスは、母と、そばに立っている愛する弟子とを見て、母に「女の方。そこに、あなたの息子がいます。」と言われた。それからその弟子に、「そこに、あなたの母がいます。」と言われた。その時から、この弟子は、彼女を自分の家に引き取った  
ヨハネ 19:26~27

イエス様の十字架上での死。その場面は、恐ろしくもあり、驚くべきものでもありました。イエス様は着物をはぎ取られ、天と地の狭間で、恐ろしい“木”に掛けられていました。イエス様に残されたものは何もありませんでした、永遠の目的と、一つの未完成の仕事以外は。

イエス様は全ての人を平等に愛されましたが、その十字架上でイエス様は、ヨハネに自分の母であるマリアを託しました。二人はイエス様にとって特別の関係でした。イエス様の母であるマリアは「主の卑しいはしため」(編注:ルカ 1:48)であり、ヨハネは「イエスが愛された弟子」(編注:ヨハネ 21:20)でした。彼らは、地上でイエス様に一番近い存在でした。

イエス様は、母を親友に託しました。死の直前、イエス様は新たな家族を作り上げました。『その時から、この弟子は、彼女を自分の家に引き取った』のです。イエス様は死の間際に、マリアをヨハネの家族に加えるという仕事をされました。そして、私達もまた、イエス様によって神の家族に加えられました。私達には教会の家族しかない場合もなるかもしれませんが、しかし、全ての家族の父は神です。そして、神の家族は聖なるものです。

讃美歌 4 よろずのくにびと

祈り お父様。私達を家族に加えてくださり、ありがとうございます。特に、あなたの聖なる家族に感謝します。私達がいつも家族を愛し、守り、仕えることができるよう、助けてください。イエス様の御名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 ウェストレイク・ビレッジ / ビル・ヘネガー

11月22日(金)

## 神が行動を起こされるとき

聖書朗読 ヨハネの福音書 20:1~9

見よ、わたしは新しい事をする。今、もうそれが起ころうとしている。あなたがたは、それを知らないのか。確かに、わたしは荒野に道を、荒地に川を設ける。  
イザヤ書 43:19

ペテロとヨハネが親愛なる友の墓まで走ったという話には、何か深く痛ましいものがあります。彼らは、思いもよらない事が起きたため、墓泥棒か!それを調べるために急ぎました。

古代の中東で、成人した男性はどこかに走ったりはしませんでした。走るというのは、子供か品のない卑しい者のすることでした。でも、この二人は、抑えきれない感情の中で、尊厳など忘れて走っていきました。彼らは、亡くなった主の尊厳を守るために、何かせずにはいられませんでした。

彼らがそこに着いた時、遺体が盗まれた形跡はありませんでした。また、変質者がしたような行為でもありませんでした。物は整頓され、畳まれていました。ヨハネはそれを見て、すぐに、キリストはよみがえられたのだと信じました。

時に、私達の人生の中で神が行動を起こされていると信じることは難しいです。私達は、神以外の何か他の理由を見つけようとするかもしれません。それは、私たちが混乱していたり、感情の起伏の大きいときに起きたりします。しかし、そんな時、私達は驚いてはいけません。神と出会う時は、驚くことが起こるのです。神があなたの人生を何か新しいことに導き、もっと重要な場所、新しいあなたに変えようとしていますか。また、主が、あなたを内なる主の栄光をよりよく感じる感覚へと導かれているなら、抵抗してはいけません。たとえ怖くてドキドキする、信じるのが難しいとしても、神を信頼しましょう。

讃美歌 159 あおげや輝く

祈り 主、神よ。私はあなたを信頼したいです。あなたを信じ、本物で真実なものに信頼をおきたいです。あなたが私の人生の中で行動を起こされる時、それを理解できますように。イエス様の御名によって。アーメン。

ノースカロライナ州 ヘンダーソンビル / イーサン・ブラウン

11月23日(土)

## 神は圧倒されない

聖書朗読 使徒の働き 2:1~12

あなたの神、主であるわたしが、あなたの右の手を堅く握り、「恐れるな。わたしがあなたを助ける」と言っているのだから。 イザヤ書 41:13

息子が8歳の時、私達は車の中で聖書の話をお聴きしていました。それは、バベルの塔の話の箇所でした。自分たちは何でもできると有頂天になっている人々を、主が言葉で混乱させることで彼らの行動を妨害されたという箇所に来た時、息子はこう言いました。「これは神様がペンテコステでされたことと反対じゃない？」

バベルの塔を建てようとした彼らは、彼らが持っていた文明の力とテクノロジーを使って、計画を実現しようとしていました。しかし、彼らがいかに頑張っても、神にかなうはずがありません。神が混乱させたことばを克服することはできませんでした。

使徒の働きのお話に戻ります。初期の弟子たちは“成功しそうな人たち”には見えませんでした。彼らは少数で、人気がなく、偶像礼拝者であるローマ人の支配下にあり、何の資源も持っていませんでした。でも、神が御霊を注がれた時、彼らの全ての欠点は克服され、様々な違った言語を話す人々の存在は、良い知らせを伝える壁とはならなかったのです。それどころか、それぞれが他の国のことばで話だし、その国の人々はそれを理解したのです。つまり、弟子たちは、自分ではなく神に頼ったのです。

つまり、あなたの能力は限られていて、弱点も大きすぎて、神に用いられることができないと思う時、対照的なバベルとペンテコステを思い出してください。バベルの塔では、人々は神様に頼らず、自分たちの力に頼ろうとしました。しかし、弟子たちは、自分たちには出来ないのを、神に頼ることを知っていたのです。私達はいつでも神に頼ることが必要なのです。

讃美歌 181 みたまよくだりて

祈り イエス様。あなたの偉大な力と偉大な御計画を讃えます。あなたの御名前によって。アーメン。

ニューメキシコ州 アルバカーキ / スティーブン・ステュワート

11月24日(日)

## ダビデの預言

聖書朗読 使徒の働き 2:29~32

神よ、私をお守りください。私は、あなたに身を避けます。私は、主に申し上げました。「あなたこそ、私の主。私の幸いは、あなたのほかにはありません。」地にある聖徒たちには威厳があり、私の喜びはすべて、彼らの中にあります。

詩篇 16:1~3

この詩篇の初めの部分には、詩篇全体のテーマが含まれています。『私は、あなた(神)に身を避けます。』これが今でもアメリカ合衆国紙幣に印刷されていることは興味深いです。《私達は神を信じる》私達が信仰に欠ける行いによってこの言葉を否定する時、憎しみ、分裂、混乱が生まれます。

使徒ペテロは、ダビデの預言としてこの詩篇の箇所を用いています。ペテロは、イエス様は神の子キリストであり、イエス様のみからだと墓に残されていなかったという事実を主張するために、この詩篇16篇10節を用いました。ダビデの遺体は墓に残されたままでしたが、イエス様は死から蘇られました。

詩篇の作者はこう主張します。『主が私の右におられるので、私はゆるぐことがない。』(8節)詩篇の全ては、神の助言と守りは絶対であることを断言しています。敵の抵抗にあう時にも、イエス様は最後まで揺らぐことはありませんでした。それは、神に信頼する者全てにとって真実なのです。『あなたの御前には喜びが満ち、あなたの右には、楽しみがとこしえにあります。』(11節)。

讃美歌 II 36 はたらき人らは

祈り 親愛なる主よ。私達もイエス様のように、あなたに信頼することができますように。そして、イエス様があなたのしもべであり、あなたの御心を行うために来られたように、私達を用い、あなたに完全に身を捧げさせてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

アーカンソー州 ファイエットビル / Lスコット・ゲイジ